

ふるさと懇談会

開催 1月25日
参加者 児童 27名
小学校 「どんな町、地域、学校に
 なればよいと思うか」

議会では、町民に開かれた議会を目指し、多くの意見や声を聞く機会のある場として、議会報告会「ふるさと懇談会」を開催しています。町内の小学校、中学校、高校の児童生徒の皆さんから提案をいただき、意見交換を行いましたので、その内容をお知らせします。



五日市小学校
 葛巻の良さを
 もっとアピール
 できるように町に
 できるような町に
 犬や猫による癒し系の動画を
 見かけることが多くなりました。
 同じように牛舎の中で酪農家で
 しか味わうことができない親牛
 や子牛のかわいいしぐさなど、
 癒し系の動画を発信してみたい
 どうかと思います。
 また植樹祭やくずまき秋まつ
 りなどのイベントにくずまきテ
 レビだけではなく、他のテレビ
 局に取材に来てもらって、中継
 してもらってはどうかと思いま
 す。その中でミルンちゃんが町
 の特産品を紹介するのも良いと
 思います。
 ネットやSNSなどによって
 葛巻の良さがもっと多くの人々
 にアピールされればふるさと納
 税などももっと増えると思いま
 す。(ほかに2項目の提言あり)

小屋瀬小学校
 葛巻町がより明るく
 活気のある町に
 葛巻町には大きな店がなく町
 外に行くことが多いです。気軽
 に運動や遊びができる場所、例
 えば1階にスポーツや遊びがで
 き、2階に買い物や食事がで
 きる店を作るなどすればいい
 と思います。そこには葛巻の
 木で作ったイスやテーブルを置
 き、食材は葛巻産のものを使用
 建物や空き家などを活用します。
 町内に小型バスを走らせ、子ど
 もたちが週末自分たちで気軽に
 行ける場所ができ、高齢者の
 方々も楽しく集まれ、運動不足
 解消にもなります。楽しく活気
 のあるまちになることで、他地
 域からの移住が増え、他地域へ
 の人口の移動がなくなり、人口
 が少しずつ増えるのではないか
 と思います。



葛巻小学校
 ふるさと葛巻の
 未来を考えよう
 まちのために自分ができるこ
 とを総合学習などで年間を通し
 て考え、まちの魅力と課題の再
 発見をしました。その学びの中
 で、支え合い楽しく活気のある
 町をつくれれば、葛巻町に暮ら
 している人も楽しいと思いい、ま
 た町外の人も葛巻町に行ってみ
 たい、暮らしてみたいと思える町
 になると考えました。
 そのためには、おいしいお肉
 や乳製品、山菜などの食材を
 使って鍋などの料理を作ったり
 葛巻町がもっと身近になるキー
 ホルダーを作ったりして、三日
 市やネットなどで販売したいで
 す。そうすることで魅力を知
 る人が増え、葛巻町に行ってみ
 たいと思う人が増え、支え合い
 楽しく活気のあるまちになると思
 います。



江刈小学校
 葛巻町に興味を持って
 くれる人を増やし
 にぎわいのある町に
 総合的な学習の時間に葛巻町
 の魅力や自慢できるものを調べ
 ました。その中で、葛巻にはた
 くさんの森林があることを実感
 し、これらの葛巻の宝を活用し
 て葛巻を盛り上げる提案を3つ
 したいと思っています。
 1つ目は葛巻の木を使って、
 古い建物や空き家をリフォーム
 してお店や住宅を作ることで
 す。2つ目は葛巻の木を使った
 商品を作って販売することです。
 3つ目はこれらの取り組みを
 ユーチューブやインスタグラム、
 フェイスブックを使ってPRす
 ることです。この取り組みで多
 くの人の葛巻の魅力を知って
 らい、行ってみたい住んでみ
 たいと思う人も増え、明るく活
 しい町になると思います。



問 地域資源の利活用で若者定住を

答 住民理解を得られる形で進めたい



バイオマス発電の経緯
議員 畜産バイオマス発
 電の計画があつたが、実
 現していない。その後、
 計画はどうなっているか。
町長 町は平成26年度に
 「新葛巻型酪農構想」を
 策定、畜ふんバイオガス
 プラント整備は、「自己
 完結型」から「大規模共
 同処理型」に移行し、余
 剰熱を温室栽培などに活
 用する構想であつた。経
 費の負担額などで酪農家
 の賛同が得られず、事業
 実施に至らなかつた。
 その後も整備・導入に
 向けて先進事例の調査や
 課題解決に向けた協議を
 行っており、理解を得ら
 れるような事業となるよ
 う調整を図っていきたい。



増頭に取り組む酪農家の牛舎

議員 木質バイオガスの検討
 (熱利用) の利活用の検
 討も併せて検討すべきと
 思うがどうか。
町長 畜ふんバイオガス
 発電は、計画当初から余
 剰電力・熱を活用するこ
 とで進めている。早期実
 現に向け改めて調整する。
 木質バイオガス発電は、
 熱利用効率が非常に高く、
 発電と合わせることでエ
 ネルギーを最大限活用で
 きる。実用化には、燃料
 調達や採算性に課題があ
 るほか、エネルギーを利
 活用する施設整備などの
 検討が必要である。
議員 山の有効活用が本
 町の大きな課題である。

農林環境エネルギー課長
 木材を原料とした発電
 施設を今後どのように進
 めるかについて、町で設
 置するものか、民間で設
 置するものかの検討も必
 要である。原料の供給は、
 木質バイオガス発電に取
 り組むことによつて、切
 り、運ぶ人など発電によ
 して仕事が増え、町が活
 化する。実際に稼働す
 れば毎日、燃料として木材
 を供給するため、山の活
 用が動いてくる。ぜひ調
 査を行い、実現に向けて
 取り組みを進めてほしい。

専任部署で事業推進を
議員 専任の部署を作り、
 木材と畜産のふん尿を活
 用し事業を進めていくこ
 とで、町の若者の定住化
 や、商工業の課題解決へ
 もつながると思うが、町
 長はどう考えるか。
町長 人口減少対策には
 さまざま取り組んでいる。
 人材育成など各分野で一
 歩ずつ着実に前進してい
 ると思つている。本町の
 環境担当課でも今、環境
 省等が進める各種施策等
 にも、的確に対応できる
 状況にあり、若い人材に
 磨きをかけ取組みを加速
 させたい。
 大きな先を見据えるこ
 とも肝要であるが、一歩
 先を見据えながら、町民
 から理解を得られるよう
 な形で進めていきたい。